

# ほっと にゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。  
あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

11/4 (土)



## 石田三成公の生き様を偲ぶ

11月6日の命日を前に、財団法人石田三成公事蹟顕彰会と石田町自治会の主催により、「石田三成祭」が開催されました。当日は石田三成公412回忌法要や記念講演会のほか、映画「のぼうの城」で三成役を演じるタレントの上地雄輔さんのトークショーが行われました。  
法要には500人、祭全体では、約3000人が来場し、それぞれの思いで三成公を偲びました。

11/3 (土) ~ 4 (日)



## 山彩られ、里にぎわう

多彩な芸術が一堂に会する『はごろもアートフェスティバル』が余呉文化ホール一帯で開催されました。  
会場では余呉地域の幅広い年代の人たちの力作が展示されたほか、各団体の発表やさをり織教室、アートカフェ、お茶席、野外ライブなどが行われました。  
訪れた人たちは、深まる秋にぴったりの手作り芸術祭を大いに楽しみました。

10/27 (土)



## やんすこんす市民祭り2012

湖北の方言「やんすこんす」を冠した市民祭りが中心市街地一帯で開催されました。地元ミュージシャンや長浜農高の軽音楽部、滋賀県立大学BigBandの演奏をはじめ、よさこい、ダンス、大道芸、和太鼓のステージ、大谷・東の両保育園児による太鼓の演奏など、まち全体が音楽であふれる一日となりました。  
曳山博物館周辺には飲食模擬店も多数出店され、盛りあがりを後押ししました。

11/11 (日)



## あちかまの里に憩う

道の駅・塩津海道あちかまの里で、「水の駅まつり」が開催されました。会場では西浅井地区連合自治会などによる「にぎわいテント村」や特産品大特売会が行われたほか、塩津港遺跡パネル展やイメージキャラクター「あちかもくん」らとの撮影会もあり、訪れた人たちは西浅井の魅力いっぱいの道の駅での休日を楽しみました。

11/10 (土)



## 魅せますキモノノチカラ

今年で15回目を迎える「長浜きもの大学」。地元のプロが講師を務めるミニカルチャー講座を着物姿で楽しむ、浜ちりめんのまちにふさわしい催しです。  
市内外から集まった300人以上の参加者たちは、曳山博物館前広場での開校式を終えると、色とりどりの着物でまちなかをしっとり染めていきました。

10/30 (水)



## 乳がん撲滅をめざして

乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診などを呼びかける啓発運動「ピンクリボン運動」。その強調月間であった10月の締めくくりとして長浜城と噴水がピンクにライトアップされ、リボンが浮かび上がりました。  
主催したのは、有志で組織された「ピンクリボン長浜実行委員会」で、ライトアップの他に乳がん視触診、啓発パンフレットの配布なども行われました。

10/28 (日)



## 移り住むなら滋賀県・湖北

「田舎暮らしフェスタ2012」が、曳山博物館前広場にメイン会場に開かれました。  
今回は湖北で仕事を探してもらうことも想定し、まちなかでの開催となりました。  
会場には、各種相談ブースが設けられたほか、様々な体験プログラムも用意され、参加者たちは実際に移住した時の想像を膨らませているようでした。

11/11 (日)



国際カラオケ大会。美声がホールに響き渡りました。



各国の民族衣装を試着できるコーナー「どれを着ようか迷っちゃおう…」



絵手紙体験。すてきな手紙ができたね。

## 来て見て触れて多文化共生

市民と在住外国人の皆さんとの交流や外国文化への理解を深めようと「ながはま多文化共生フェスタ」が臨湖で開催されました。

11/3 (土)



## 心とタスキをつないで

浅井ふれあいグラウンドを発着点に開催された長浜市駅伝競走大会。小学生から一般まで6部門が設けられ、63チーム504人が参加しました。  
監督やチーム皆の思いを乗せたタスキは途切れることなく、次の走者へと引き継がれゴールに運ばれました。  
全チームが完走を果たし、達成感に満ちたさわやかな笑顔が会場にあふれていました。

11/2 (土) ~ 3 (日)



## よっ、待ちました！

商店街の活性化を目的に始まり、今年で16回目を迎える「長濱ゆう歌舞伎」。役者も太夫も素人ながら、切磋琢磨しながら稽古を積んできました。公演では、夏に始まった「子ども歌舞伎教室」の発表も合わせて行われ、150人余りの観客から大きな拍手が送られました。  
座長の渡辺さんは「歌舞伎に携わる人の底辺を広げていきたい」と話していました。



この事業は、(財)自治総合センターが、宝くじの収益を地域に還元するために実施している宝くじ助成を受けて実施されました。